

平成26年北栄町議会 委員会研修報告書

1	日 時	平成26年10月30日(木)～31日(金) 1泊2日	
2	調 査 地	滋賀県大津市 ・ 滋賀県高島市 ・ 滋賀県長浜市	
3	調 査 内 容	(内 容)	(場 所)
		(1) 県立美術館の状況について	滋賀県立近代美術館
		(2) 地域支えあい作りの取り組みについて	滋賀県高島市社会福祉協議会
		(3) 避難支援、見守り支えあい制度について	滋賀県長浜市役所
4	調査結果 又は概要 (意見・感想)	<p>(1) 県立美術館の状況について (近代美術館)</p> <p>研修日は、大倉遊亀(ゆき)と安田靫彦(ゆきひこ)の特別展示会であった。大倉遊亀(ゆき)氏が滋賀県大津市出身ということで、その師匠に当たる安田靫彦(ゆきひこ)との2人による特別展示は圧巻であった。絵画は何か懐かしいほのぼのとした作品が多く、心の洗濯になった。</p> <p>この近代美術館の立地する地は、周縁に大学が立地しており、滋賀県が誘致したものとのこと。大津市が今学園都市として変貌していることを聞いて、京都から近い「地の利」の有利性に魅力を感じた。</p>	
		<p>(2) 地域支えあい作りの取り組みについて(高島市社会福祉協議会)</p> <p>高島市は、平成17年1月1日、に旧マキノ町、今津町、朽木村、安曇川町、高島町、新旭町の1村5町が合併した市である。町村同士の合併であるため、特に大きな街は無く、イメージとしては農村部の町である。</p> <p>高島市の地域支えあい事業は、見守りネットワーク活動として、各自治会単位で根付き始めている。その概要、組織化の流れは、</p> <p>① 社会福祉協議会が行政と連携しながら地域の(自治会の)会長・民生委員・福祉推進員などに地域見守りなどについて呼びかけ。</p> <p>② その結果、取り組みを決めた自治会は、ボランティア募集(あて職での取り組みは負担感が強く取り組みのハードルが上がってしまうため)し、事業計画の作成(出来ることから始めるようアドバイス)</p> <p>③ 見守りは月1回の集団(全体)見守りと、定期的な見守り会議の開催。地域によっては、居場所づくりのために「ワンコインカフェ」「サロン」を開店している地域もある。</p> <p>この結果、204自治会のうち74自治会が取り組んでいるとのこと。最大限、地域(自治会中心の取り組みとなるような仕組みづくりがなされておられ本町においても見本として取り組みすべきであると感じた。</p> <p>サロン(居場所づくり)→見守り→生活支援の流れが必要であり、特に、来年度4月に導入される生活困窮者自立支援法のスムーズな取り組みのためにも必要である。</p>	

4	調査結果 又は概要 (意見・感想)	<p>(3) 避難支援、見守り支えあい制度について(長浜市健康福祉部社会福祉課)</p> <p>長浜市は、平成6年浅井町、びわ町と合併。続いて、平成22年、東浅井郡の湖北町など7町を編入合併により現在の長浜市となっている。街中心は旧長浜市の長浜地区。</p> <p>長浜市の取り組みは、災害時の避難支援が目的であり、425自治会で「災害時要援護者台帳」の登録受付をし、申請者ごとに個別計画の作成がなされるシステムになっている。あくまで、本人手上げシステムであり、行政主体のイメージが強く、地域(自治会)での自主性の確立が課題だと思った。役場と住民との距離があるように感じた。</p>